

令和5年度第3回佐久医療圏地域医療構想調整会議 要旨

1 日時

令和6年3月7日（木）午後6時30分から午後8時15分まで

2 場所

佐久合同庁舎講堂

3 出席者

(1) 委員

坂口委員、雨宮委員代理出席、浅川委員、小松委員、今牧委員、島崎委員、古田委員、村杉委員、橋本委員、渡辺委員、宮田委員、酒井委員、金澤委員代理出席、黒澤委員、雨宮委員代理出席、箕輪委員、由井委員、植竹委員、稲葉委員代理出席、小林委員、大森委員、工藤委員、井出委員、中島委員、藤原委員代理出席、依田委員、山口委員、菊池委員、鷹野委員（欠席6名）

(2) 事務局

健康福祉部医療政策課 浅川主任、江上主事
佐久保健福祉事務所 小松所長、荒井副所長 他

4 会議事項

(1) 地域医療構想における対応方針について

- 事務局から資料1-1に基づき説明。
- 各病院の対応方針についてそれぞれの医療機関から資料1-2に基づき説明。
- 主な補足説明、意見等は、以下のとおり。

【渡辺委員】

- ・精神科70床は、30床で運用し、それも4月1日から休床を予定している。
- ・回復期リハビリテーション病棟ではさらに4床増やして48床となっている。

【宮田委員】

- ・稼働していない16床は、救急4床、ICU6床、GCU6床であり、患者がいないことによる。
- ・現在の高度急性期病床で新年度の診療報酬制度における重症度を満たさない患者がいる。
- ・県が出している2025年度推計値で高度急性期が193床となっているが、現状でも患者がそこまでおらず、推計値の見直しが必要ではないか。

(事務局)

- ・2025年度の高度急性期193床というのはあくまでも推計値であり、現時点で変更する予定はない。

【由井委員】

- ・稼働率が80%を下回ると厳しくなるが、現状では85~90%で推移しており、当面は現在の病床数でよいと考えている。
- ・2026年診療報酬改定でDPC病院から外れることが見込まれており、介護施設への転換等、関連する介護施設も含めて対応を検討している。

【金澤委員代理】

- ・この5月に新病院がオープンし、救急受入れ体制の整備、糖尿病内分泌科の新設、整形外科医の常勤化等を柱にしている。
- ・旧病院の建物を改修し、60床の介護医療院とする予定で、まず令和7年4月に25~30床でオープンする。

(事務局)

- ・軽井沢西部総合病院では新たな院長、副院長を探している。

【宮田委員】

- ・維持透析を実施する医療機関が不足している。佐久医療センターには急性期の10床しかなく、外来の維持透析を行わない方針だが、対応できる医療機関がなかなか見つからない。維持透析を行っている医療機関において拡充等の予定があるか。

【橋本委員】

- ・できるだけ対応したいと考えており、受入れ人数の拡充を検討している。移住者からの希望も出始めており、今のところはお断りしているが、今後、対応が必要と考えている。

【稲葉委員代理】

- ・常勤医がおらず、施設や技師の関係もあって拡充は困難だが、時間帯の工夫などを検討していきたい。別荘居住者からの希望については、お断りしている。

【箕輪委員】

- ・常勤医がおらず、急変時の対応ができない。地域全体で考える必要があるのではないか。

- 箕輪委員から資料「佐久市立国保浅間総合病院経営強化プラン（令和6年度～9年度）（案）【概要版】」に基づき説明。
- 稲葉委員代理から資料「軽井沢病院経営強化プラン（令和6年度～9年度）（案）」に基づき説明。
- 各医療機関の対応方針について、許可病床数の増加に伴う部分を別途協議することとした上で了承された。

(2) 圏域におけるデータ分析について

- 事務局から資料2、参考資料2に基づき説明。
- 質疑、意見等は出されなかった。

(3) 紹介受診重点医療機関について

- 事務局から資料3に基づき説明。
- 質疑、意見等は出されなかった。

(4) 令和6年度実施予定の地域医療介護総合確保基金事業（医療分）について

- 事務局から資料4に基づき説明。
- 主な質疑、意見等は、以下のとおり。

【橋本委員】

- ・どういう事業がどれくらい応募しているのか。

(事務局)

- ・確認して回答したい。

【植竹委員】

- ・北信、東信への医師の配置が少ないと思うが、どのように対応しているのか。

(事務局)

- ・修学資金貸与医師の配置は、県と信州大学で協議し、最終的には地域医療対策協議会で確認して決めている。来年度、私立病院も対象とすることとしている。ご意見を担当部署に伝えたい。

(5) 佐久保健所個別議題

1) 佐久市立国保浅間総合病院における介護療養病床の廃止について

○箕輪委員から資料6に基づき説明。

○質疑、意見等は出されなかった。

2) 平日夜間急病診療センターについて

○佐久広域連合から資料「広報佐久広域」に基づき説明。

○主な質疑、意見等は、以下のとおり。

【箕輪委員】

・ #7119 が昨年からはまっているが、運用状況はどうか。何回線で運用しているか。

(事務局)

・ 利用はかなりあり、継続する方針。実績は、昨年10月808件、11月900件、12月1,027件。2回線で運用している。#8000も2回線で行っている。

3) 上手な医療のかかり方広報事業について

○佐久広域連合から資料「佐久地域上手な医療のかかり方ハンドブック」に基づき説明。

○事務局から県でも同様のハンドブックを配布しているので、活用してほしいと説明。

○質疑、意見等は出されなかった。

4) 病院群輪番制の変更について

○佐久広域連合から11医療機関による病院群輪番制の変更について説明。

・ 4月から当番日を設けず、内科系、外傷系、近隣病院機能の3つの機能ごとに受入れ可能医療機関を選定し、受入れ実績に応じて補助金を交付することになった。

○質疑、意見等は出されなかった。

(6) その他

1) 外来医療計画の進捗について

○事務局から資料5に基づき説明

2) 新型コロナウイルス感染症への対応について

○事務局から4月以降の新型コロナウイルス感染症への対応について説明。

・ 3月までの医療体制が終了し、4月から通常体制となる。県の24時間相談窓口も終了。

・ 第6波と同等の対応を想定した長野県感染症予防計画を検討しており、保健所では健康危機対処計画（感染症編）の作成も進めている。人材や医療体制の確保等においてご協力をお願いしたい。

3) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

○佐久地域振興局からワクチン接種について説明。

・ 3月でこれまでの対応が終了となり、4月以降、新たな体制となる。これまでの対応に感謝申し上げる。

4) 高速道路における複数箇所での交通事故について

○佐久広域連合消防本部から高速道路における複数箇所（20箇所ほどか）での交通事故について説明。

・ 死傷者14人の傷病者が発生し、軽井沢でのバス事故を踏まえて構築した「大規模事故発生時の情報伝達」を適用し、佐久医療センター、こもろ医療センターに受入れていただき、ドクターカー、DMATも出動していただいた。感謝申し上げます。

5 その他

・ 次回は、8月から9月の開催を予定（事務局）。

以上